



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 東プレ

コード番号 5975 URL <http://www.topre.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務人事部長

(氏名) 露木 好則

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	22,715	24.4	2,406	48.8	2,454	45.4	1,467	43.4
24年3月期第1四半期	18,265	—	1,617	—	1,687	—	1,023	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,707百万円 (44.1%) 24年3月期第1四半期 1,184百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	29.30	—
24年3月期第1四半期	20.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	100,945	70,174	64.8	1,305.19
24年3月期	102,098	68,940	62.8	1,279.72

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 65,375百万円 24年3月期 64,099百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	10.4	3,400	△25.9	3,700	△18.6	1,700	△33.3	33.94
通期	91,000	5.7	7,000	△22.2	7,500	△22.0	4,000	△22.6	79.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	54,021,824 株	24年3月期	54,021,824 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	3,933,070 株	24年3月期	3,932,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	50,088,835 株	24年3月期1Q	50,096,115 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①概況

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、主要な取引先である自動車業界におきましては、震災やタイの洪水影響の解消後は、エコカー補助金など購入支援策による需要の押し上げもあり国内の自動車生産・販売は、前年同期を大幅に上回りました。また、北米におきましても米国経済が堅調に推移したことから、新車販売は前年同期を上回る水準で推移いたしました。

こうしたなか、当社グループの業績は、売上高 227 億 1 千 5 百万円、前年同期比 44 億 5 千万円の増収 (24.4%増)、営業利益 24 億 6 百万円、前年同期比 7 億 8 千 9 百万円の増益 (48.8%増)、経常利益 24 億 5 千 4 百万円、前年同期比 7 億 6 千 7 百万円の増益 (45.4%増)、四半期純利益 14 億 6 千 7 百万円、前年同期比 4 億 4 千 4 百万円の増益 (43.4%増) となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、国内の自動車生産・新車販売は、エコカー補助金の追い風を受け一昨年並みの水準で推移し、震災により生産・販売の低迷した前年同期を大幅に上回りました。また、北米におきましても、米国の新車販売が好調に推移し受注を伸ばしたことから、プレス関連製品事業全体での売上高は 135 億 9 千 9 百万円、前年同期比 27 億 8 千 6 百万円の増収 (25.8%増) となりました。セグメント利益 (営業利益) は、19 億 9 千 7 百万円、前年同期比 3 億 1 千 8 百万円の増益 (18.9%増) となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、昨年震災後の混乱により更新を先送りされた車輛に加えて、補助金による需要の喚起効果により全体需要が改善したことから、受注・生産は前年同期を大幅に上回り推移いたしました。

定温物流関連事業全体での売上高は 73 億 2 千 7 百万円、前年同期比 14 億 3 千 6 百万円の増収 (24.4%増)、セグメント利益 (営業利益) は、2 億 5 千 1 百万円、前年同期比 4 億 2 千 4 百万円の増益となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、住宅用換気システムは堅調に推移しましたが、前年同期に比べ空調設備向け産業用送風機、クリーンルーム用機器の受注が減少しました。電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」の販売が堅調に推移し、さらにタッチパネル関連製品の受注を伸ばしたことから、その他の事業全体での売上高は 17 億 8 千 8 百万円、前年同期比 2 億 2 千 9 百万円の増収 (14.7%増)、セグメント利益 (営業利益) は 1 億 5 千 7 百万円、前年同期比 4 千 6 百万円の増益 (41.4%増) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金、有価証券が減少したことから、560 億 8 千万円となりました。

固定資産では、有形固定資産において、主に Topre America Corporation の第 4 次設備投資の進展にともない建設仮勘定が増加したことから、448 億 6 千 5 百万円となりました。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ 11 億 5 千 3 百万円減少の 1,009 億 4 千 5 百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に未払法人税等が納付により減少したことから 252 億 5 千 1 百万円となりました。

固定負債では、主に海外の設備投資に係る長期借入金が増加したことから、55 億 1 千 9 百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ 23 億 8 千 7 百万円減少の 307 億 7 千 1 百万円となりました。

(純資産の部)

利益剰余金が増加したこと、為替換算調整勘定のマイナス幅が縮小したことから、保有する有価証券の評価額の含み益の縮小によりその他有価証券評価差額金が減少したものの、前連結会計年度末に比べ12億3千4百万円増加の701億7千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、平成24年4月27日公表の予想値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,620	12,340
受取手形及び売掛金	20,410	21,353
有価証券	7,835	5,185
金銭債権信託受益権	5,400	5,400
たな卸資産	7,742	8,515
その他	3,579	3,286
貸倒引当金	1	0
流動資産合計	59,587	56,080
固定資産		
有形固定資産	26,956	29,921
無形固定資産	427	442
投資その他の資産		
投資有価証券	13,783	13,263
その他	1,366	1,260
貸倒引当金	22	22
投資その他の資産合計	15,126	14,501
固定資産合計	42,511	44,865
資産合計	102,098	100,945
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,058	19,108
短期借入金	-	16
1年内返済予定の長期借入金	723	720
未払法人税等	3,696	314
賞与引当金	1,226	469
役員賞与引当金	87	22
製品保証引当金	204	211
資産除去債務	53	53
その他	4,126	4,334
流動負債合計	28,176	25,251
固定負債		
長期借入金	1,850	2,551
長期未払金	859	859
繰延税金負債	2,067	1,855
P C B 処理引当金	38	38
その他	167	214
固定負債合計	4,982	5,519
負債合計	33,158	30,771

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	4,840	4,840
利益剰余金	56,344	57,389
自己株式	2,464	2,465
株主資本合計	64,330	65,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,120	1,439
為替換算調整勘定	2,350	1,439
その他の包括利益累計額合計	230	0
少数株主持分	4,840	4,799
純資産合計	68,940	70,174
負債純資産合計	102,098	100,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	18,265	22,715
売上原価	14,687	18,149
売上総利益	3,577	4,565
販売費及び一般管理費	1,960	2,158
営業利益	1,617	2,406
営業外収益		
受取利息	19	21
受取配当金	97	97
固定資産賃貸料	25	24
その他	44	28
営業外収益合計	186	172
営業外費用		
支払利息	2	2
固定資産賃貸費用	4	3
為替差損	75	114
寄付金	30	0
その他	3	3
営業外費用合計	116	124
経常利益	1,687	2,454
特別利益		
固定資産売却益	0	7
特別利益合計	0	7
特別損失		
固定資産除却損	0	28
減損損失	0	0
ゴルフ会員権評価損	-	15
その他	-	1
特別損失合計	1	45
税金等調整前四半期純利益	1,687	2,416
法人税、住民税及び事業税	418	318
法人税等調整額	254	597
法人税等合計	672	915
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	1,500
少数株主利益又は少数株主損失()	8	32
四半期純利益	1,023	1,467

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,014	1,500
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	92	703
為替換算調整勘定	262	910
その他の包括利益合計	170	207
四半期包括利益	1,184	1,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188	1,698
少数株主に係る四半期包括利益	3	9

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,813	5,891	16,705	1,559	18,265		18,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	0	50	99	149	149	
計	10,863	5,892	16,755	1,658	18,414	149	18,265
セグメント利益又は損失()	1,679	173	1,505	111	1,617		1,617

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	プレス関連 製品事業	定温物流関 連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,599	7,327	20,926	1,788	22,715		22,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	3	72	142	214	214	
計	13,668	7,330	20,999	1,930	22,929	214	22,715
セグメント利益	1,997	251	2,249	157	2,406		2,406

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益は「プレス関連製品事業」で3百万円、「定温物流関連事業」で1百万円、「その他」で0百万円それぞれ利益が増加しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。